

イトジュ

中小企業版SBT認定を取得

脱炭素経営の強化へ

産業廃棄物の収集運搬等を手掛けるイトジュ(三重県四日市市、伊藤靖則社長、059・3331・3225)は、中小企業版SBT認定を取得した。中長期の活動方針として、車両の省エネ化やエコドライブ、環境意識の啓発活動などの推進を設定。脱炭素経営を着実に進め、取引先からの一層の信頼性向上や環境負荷低減につなげていく。

同社では、「脱炭素」を軸とした活動の推進を、SBT(Science Based Targets)の取得に向けて取り組んでいる。現時点で、取引先から温室効果ガス排出削減等への対応を求められた事例はないものの、「中長期的には中小企業においても取組の実施の有無が評価される環境が形作られていく」と先を見据える。

また、自社内で行っていた活動を国際的な基準に合わせることで、価値向上にも期待する。

長線上にSBT認定があることを知った。取得を一つの通過点として、将来的なメリット享受を期待しつつ、脱炭素経営を着実に進めていきたい。事業活動を通じて環境負荷低減に取り組む、取引先や地域社会から信頼される企業を目指していきたい」と話した。

SBT(Science Based Targets)は、パリ協定の実現に向け、科学的根拠に基づき企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のこと。CDP、WFPなど四つの組織が設立した国際イニシアチフ「SBTi」がガイドライン整備や認定を行っている。

具体的な取り組みとして、EV導入や古い車両の入替等の車両省エネ化、ふんわりアクセル(アイドリ)ングストップ、「法定速度」一定走行といったエコドライブ、推進、廃棄物のリサイクル

伊藤将希専務は、「現環境関連活動の延伸を行っている。」と述べている。



事業所の様子

産廃税活用した研究の成果発表会

広島循環型社会推進機構
循環型社会形成へ15件の取り組み

NPO法人広島循環型社会推進機構は3月6日、ワークピア広島(広島市)で2025年度「研究成果発表会」を開催した。同機構は産廃税を活用して、広島県における廃棄物のリサイクルや排出抑制など循環型社会の形成に資する研究開発を助

成しており、同年度の「循環型社会形成推進技術研究開発事業」に採択された企業・団体・大学より、研究開発課題の研究結果・成果に係る発表があった。

成果発表会では、▽デリカウイング(一社) 広島県資源循環協会▽Rainbow



多数の関係者が出席した

大学院統合生命科学研究所▽広島循環型社会推進機構▽丸栄▽三谷建設が取り組んだ計15件の研究開発事業が紹介された。「食品製造業で発生する廃ラ類の熱回収」「流動化処理の適用拡大」「リチウムイオンバッテリーの非焙焼処理」が、再生プラスチックの活用拡大に向けた取り組みの強化に関する研究(自動車業界への再生プラスチックの利用拡大)に発表された。同協会は、再生プラスチックの利用拡大に向けたポータルサイトとして、その品質とデータ連携体制といった点

インタビュー

DXE(東京・千代田)は、廃棄物処理業界の慣習にも適応した電子化サービス「DXE Station」を提供している。サービスにおける近況や、今後の展開をどのように計画しているのか。DXEの代表取締役社長である小山逸朗氏に話を聞いた。(聞き手=本紙・土佐)

2025年度での獲得できた。これまでは産業廃棄物を取り組む。DXEは、25年度は、DXE Stationが、業務基幹システムとして進化させた。DXEで一本化できるWNET連携を行う企業は約3.5万社に達した。具体的には、1年

業務基幹システムとして進化

DXE 代表取締役社長 小山逸朗氏に聞く



25年11月には、ドライバー向け機能として「ドライバースケジュール」を追加費用なしで標準実装した。ドライバーがスマートフォンを使って、出先で数量入力や受注変更を行えるようになり、事務所に立ち寄る必要がなくなる。「現場完結型DXを実現する機能」を配車の指示や運搬の進捗といった情報をドライバーと事務担当者がリアルタイムで共有でき、都度連絡を取る必要があった業務上の負担を解消した。ユーザーから好評を得ていることに加え、「この機能のみを使いたい」という声もあるため、柔軟な提供方法について検討していきたい。

26年2月には、他の収集運搬業者に運搬を委託した案件も管理できる「他社運搬登録機能」を実装した。さらに同機能の追加を加速させるべく、多くの収集運搬業者が「成」一般廃棄物の両方を取り扱

「他社運搬登録機能」を実装した。さらに同機能の追加を加速させるべく、多くの収集運搬業者が「成」一般廃棄物の両方を取り扱

連携を通して業界の課題解決も目指す

26年度は、「成」一般廃棄物の両方を取り扱

「成」一般廃棄物の両方を取り扱

記者手帳

「最近、解体工事の案件が地域によ

最近、解体工事の案件が地域によ

解体減少時代の資源循環

「最近、解体工事の案件が地域によ

最近、解体工事の案件が地域によ